

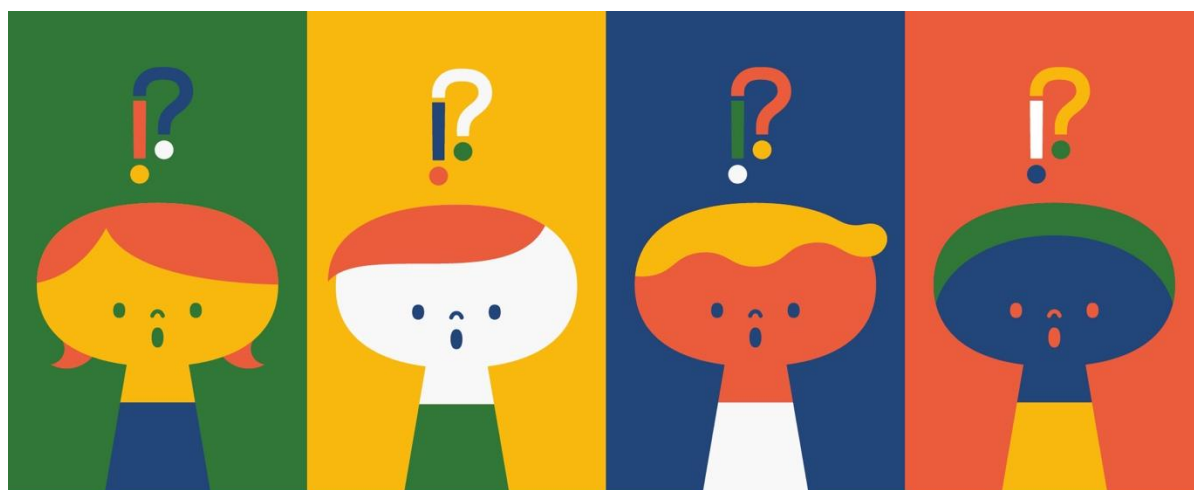
2020年7月31日

株式会社イオンファンタジー

イオンファンタジーは、あそびとまなびを一つにするエデュテイメント企業へ エデュテイメントWEBサイト「あそび!? まなび!?」オープン!

株式会社イオンファンタジー（代表取締役社長：藤原信幸、所在地：千葉県千葉市、以下、当社）は、2020年7月31日より、エデュテイメントWEBサイト「あそび!? まなび!?」をオープンいたします。イオンファンタジーが展開する様々なエデュテイメントの施設やコンテンツをはじめ、インタビュー記事や調査結果など、イオンファンタジーのエデュテイメントに関するあらゆる情報を発信してまいります。

URL: <https://www.fantasy.co.jp/edutainment/>



あそび
まなび



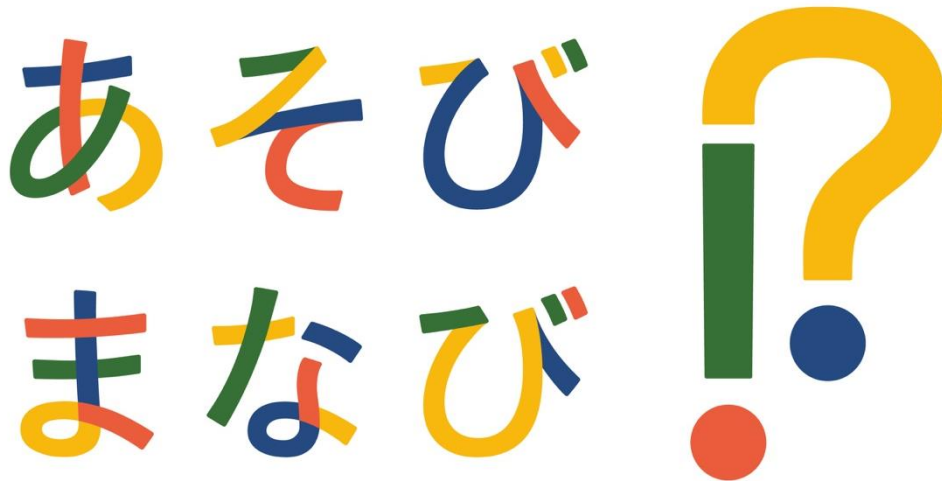
あそびなのか!? まなびなのか!? 夢中になって楽しむうちに、子どもの能力が最大限に引き出される。不思議「?」と驚き「!」のあいだを何度も行き来するなかで、こころ・あたま・からだの成長してゆく。あそびの力を誰よりも知っているイオンファンタジーだからこそ生み出せる、そんな体験を追求していきたい。学校で勉強する科目にとどまらず、「そんなものもありか!」という分野までエデュテイメントにしてみせます。この世界のすべては、まだまだあそべるし、もっとまなべる。見たことのない子どもの表情と出会いませんか。

エデュテイメント [edutainment = education + entertainment]

■イオンファンタジーが目指す姿

イオンファンタジーが考えるエデュテイメントとは、エンターテインメント（あそび）とエデュケーション（まなび）がひとつになった体験。世界中に楽しい『あそび×まなび』を届けるエデュテイメント企業を目指し、あそびとまなびの融合で、お子さまが夢中に楽しみながら、こころ・あたま・からだが成長する体験を提供してまいります。

■ロゴに込めた想い



驚き[!]や不思議[?]と出会ったとき、子どもの頭はワクワクでいっぱい状態です。[!]と[?]をつなげることで、不思議から驚きへ、驚きから不思議へと、目まぐるしく活動する子どもの頭の中を象徴するシンボル[!?]としました。エデュテイメントはこうでなければならない、と社として規定するよりも、「あそびなのか!? まなびなのか!?’といった両義性を各人が楽しみながら、時勢に合わせてエデュテイメントをアップデートしていきたい、という想いも込めています。

■代表取締役社長：藤原信幸コメント

「あそび」の中にいっぱい「まなび」があるということを体感していただくことが、イオンファンタジーの「エデュテイメント」だと考えています。我々が新たにエデュケーション、教育市場へ真正面で切り込んでいくことは難しいですが、「あそび」と「まなび」の間地点はまだ空白地帯であり、まだ成熟していない市場です。我々がその市場を新しく作っていくということは、もちろん大変な困難も伴うでしょうが、チャレンジのしがいがあります。

この想いをまず言葉で表現しないと伝わらないと思い、新しいビジョンとして「子どもと家族の笑顔のために、楽しい『あそび×まなび』を届けるオンリーワンのエデュテイメント企業」を目指していくというメッセージを打ち出しました。

180度イオンファンタジーの事業を「あそび」から「まなび」のビジネスに切り替えるということではなく、いまの「あそび」の事業を軸に「まなび」を提供し、イオンファンタジーならではの「エデュテイメント」を育ててまいります。

■イオンファンタジーとは

イオンファンタジーは、ショッピングセンター内を中心に、ファミリー向けアミューズメントやインドアプレイグラウンドといったお子さまとファミリーが楽しく過ごせる遊び場を提供しています。「あそび」もただ楽しいだけでなく、遊びながら自立性を伸ばしたり、考える力や創造性、社会性を育てているところがイオンファンタジーの特徴です。日本国内に加え、2007年からはアジア諸国へも事業を拡大し、世界に広がる店舗数は現在8カ国868店舗（2020年6月30日現在）に及びます。国内のアミューズメント施設運営企業としてはNo.1に成長しました。



以上

報道関係連絡先：株式会社イオンファンタジー 広報・IR室 圓藤（エンドウ）・山本（ヤマモト）

TEL：043-212-6188 公式WEBサイト：<https://www.fantasy.co.jp/>

Mail：koho_ir@aeonfantasy.jp